

2022年
4月

新コーナー
「なす太郎のポイント指南」が
はじまります！
4月は拡大バージョンです。

なす栽培で
+αの収入を
目指しませんか？

JAひがしみのと東美濃夏秋なす
生産協議会では、なす生産者を増や
そうと、「なす生産拡大大作戦」に取り
組んでいます。

今月からこの彩野菜のコーナーの
一部で、なすの栽培技術について毎
月お伝えしていきます。これを参考に、
ぜひあなたもなす栽培で+αの収入
を目指して大作戦に加わってみませ
んか？栽培しているなすの品種が千
両2号であれば、シーズンの途中か
ら出荷することもできますよ。

このポイント指南のコーナーでは、
東美濃夏秋なす生産協議会の原進会
長に実際の畑の様子や手順の画像を
提供していただき掲載していきます。

今月からなす太郎と一緒に
なす栽培を簡単に紹介さ
せていただきます。我が家
のなすの成長と合わせてお
伝えしていきます。よろし
くお願いします。



東美濃夏秋なす生産協議会
会長 原進さん

なす太郎の
ポイント指南

今月は

「苗を植える圃場の準備」です。

なすは収穫期間が6月から11月と長いので、耕土は深く、
排水のいい場所を選びましょう。
夏場には十分な水やりが必要です。近くに水源があると
良いですね。



1 完熟たい肥(おかげ堆肥)やモミ殻
燻炭などを散布。JAで土壌診断を受け、
施肥設計をしてもらうと良いですよ。



2 管理機でしっかり耕起し、畝を作る。
ロータリーを逆転位置にして土を跳
ね上げ、畝を立てます。



3 畝全体の様子。畝は、なす栽培の
最も大切な場所！できれば高さか
30cm以上あると良いですね



4 出荷農家は本数が多いため灌水
チューブを利用します。



5 マルチをかけ畝が完成!



1月の畑。
今年は雪が多く寒かったですね…。



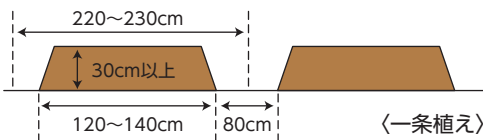
夏までにはこんなに成長します。
頑張るぞ!

圃場準備が整いました。
さあ来月はいよいよ
苗の準備です!

こんにちは
はじめまして!!
ボク、なす太郎。
一緒に美味しいなすを
たくさん作ろうね!



「毎年、家庭菜園の
なすが食べきれない」
という人も、
ぜひ出荷を考えてみてね!



なすの出荷に向けて新しく
取り組む方は、1日1袋から
でも出荷ができます。ぜひあ
なたも+αの収入を目指して
なすを作ってみませんか？
「出荷に挑戦してみたい」
という方はぜひJAのアグリ
センターにご相談。
談ください。JA
の営農指導員が
畑に出向いて相
談に応じます。
JAひがしみの 営農部
Tel 0573-78-0137

